

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名 称	会計	コード	名 称
964	保護者・地域の活動ステージ整備事業	会計	01	一般会計	
		款	10	教育費	
31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	項	01	教育総務費	
		目	03	義務教育振興費	
		細目	102	児童生徒指導経費	
		細々目	06	保護者・地域のステージ整備事業	
担当部課名	教育部 学校教育課				
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	22-9676		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市内3小学校児童及び5中学校生徒	学校、家庭、地域、関係機関が一体となって取り組むことで、児童生徒が、楽しくて安心な学校生活を送ることができるようになります。
本年度事業内容	1. 小中学校における児童会・生徒会とPTA活動の連携 2. 地域による児童生徒生活支援体制の確立 3. 地域、教職員の児童生徒指導に関する学習会の開催	
開始年度	平成 15 年度	終了年度 平成 年度
		根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.125	0.3	0.3
	人件費合計(A)	900	2,160	2,160
②支出内訳(千円)	事業費(B)	2,100	2,100	2,100
	委託料	2,100	2,100	2,100
	その他			
	合計(A+B)	3,000	4,260	4,260
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	2,100	2,100	2,100
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	900	2,160	2,160
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
児童生徒の活動とPTA活動の連携実施校数	校	7	8	8			
児童生徒指導に関する研修会開催校数	校	7	8	8			
学校と地域による児童生徒指導を組織している学校数	校	7	8	8			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
児童の問題行動の発生件数	児童による暴力行為、いじめ、不登校について、その発生件数を指標としました。	件	44 目標 (30)	28	25
生徒の問題行動の発生件数	生徒による暴力行為、いじめ、不登校について、その発生件数を指標としました。	件	377 目標 (225)	200	180

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

事業開始当初は、中学校3校のみの実施でしたが、生徒が学校祭への参加を保護者や地域に呼びかけたり、自分たちで育てたプランターの花を市民センターへ贈ったりすることで、地域の方々の学校支援がより深まりました。平成16年度から、小学校においても事業を実施し、現上野東小学校においては、地域の方が児童支援に参画していただき、落ち着いた授業に取り組むことができるようになりました。地域の支援を得るだけでなく、地域とともに児童生徒指導にかかわる研修の機会を持つことが今後の課題です。

評価	必要性	4	子どもたちの健全な育成を目標に保護者や地域のボランティアの方々等が学校を活動拠点にさせていただくことで、地域の方々が児童生徒とともに活動する機会が今以上に増えるよう取り組みを進めていきたいと考えています。今後は、子どもたちが、PTAや児童会、生徒会等の行事や地域行事をともに作り上げるような取り組みにつなげていきたいと考えています。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		